入間市市民提案型協働事業

ジョンソン基地の米軍ハウス

～入間の中のアメリカ～

入間の戦後史の文化遺産として
ジョンソン基地の米軍ハウス（通称ハウス）を
とり上げ、見学会と講演会を開催します。

12月15日（日）

平成25年

午前の部 **旧米軍ハウスのガイドツアー**

時　　間	10:00~11:50　13:00~ 講演会参加
集合場所	ジョンソンタウン（入間市東町 1-6-12）
参 加 費	1,000 円　午後の講演会を含む（保険、資料代。昼食別）
定　　員	先着 80 名　要申し込み (申込み方法は裏面参照）

午後の部 **講演会・パネルディスカッション**

時　　間	13:30~16:30（受付　13:00）
会　　場	産業文化センター（入間市向陽台 1-1-7）
参 加 費	500 円（資料代）　事前申し込み不要
基調講演	「ディペンデントハウスについて」　内田青蔵氏（神奈川大学教授）

主催：入間市の文化遺産をいかす会　　入間市教育委員会
協賛：ジョンソンタウン　　埼玉建築士会入間第二支部入間部会

詳細については裏面参照

開催にあたって

今注目をあびている入間市東町の「ジョンソンタウン（旧磯野住宅）」は、元米軍ハウス(通称ハウス)であったことが魅力の源になっています。
敗戦後、ジョンソン基地が進駐した豊岡町（現在の入間市）には、アメリカの文化が漂う進駐軍家族用住宅が基地の内外に数多く作られました。米軍が退去した後も日本人の住宅や店舗などとして使用されてきましたが、今ではわずかとなっています。
この「ハウス」を基地の町だった入間市の文化遺産として考え、その歴史的背景や生活の様子、文化的な影響などを掘り起こしながら、「ハウス」の戦後占領期の文化史的意義を確認しようというものです。

講演会 会場
産業文化センター
（入間市向陽台 1-1-7）

見学会 集合場所
ジョンソンタウン
（入間市東町 1-6-12）

EVENT

講演会　ジョンソン基地の米軍ハウス　～入間の中のアメリカ～

「ハウス」とはどのようなものでしょうか。記録が少ない当時の様子を、
貴重な証言や新発見の写真など資料もまじえてあきらかにしていきます。

基調講演　**「ディペンデントハウスについて」**　**内田青蔵氏**
神奈川大学教授。建築史家。工学博士。日本の近代建築に詳しく、建物の保存・再生でも各地で活躍。著書『日本の近代建築史』、『お屋敷拝見』共著『占領軍住宅の記録』など多数。

報告　**「ジョンソン基地とハウスの歴史」**　**吉田茂雄氏**
入間市の文化遺産をいかす会会員
入間市文化財研究同好会副会長

パネルディスカッション　**「ハウスの文化史的意義」**

コーディネーター　**内田青蔵氏**

パネリスト

磯野達雄氏　磯野商会社長。士官学校住宅や米軍ハウスだった磯野住宅を、ジョンソンタウンと言う住まいに継承。

渡辺　治氏　建築家。ジョンソンタウンの設計を担当。米軍ハウスの考え方を現代に生かした平成ハウスを考案。

谷　　豊氏　元ジョンソン基地で通訳や住宅部門に勤める。現在、当時の事を記録する事をライフワークとしている。

上田知佐子氏　平成24年度に狭山市立博物館が開催した「ジョンソン基地とハイドパーク展」の企画を担当。

石川嘉彦氏　石川組製糸創業者の曾孫。「西洋館」が進駐軍に接収されたころをよく知る。入間市の文化遺産をいかす会会長。

見学会　旧米軍ハウスガイドツアー　（先着 ８０名）

ハウスの町並みを今に残すジョンソンタウン（旧磯野住宅）内を巡ります。
なかなか見ることができない、ハウス内部の見学も予定しています。

申込み期間　**11月20日（水）～12月10日（火）**
申込み方法　**氏名・住所・年齢・電話番号および「旧米軍ハウスガイドツアー参加希望」と記入し、往復はがき・ＦＡＸ・メールのいずれかでお申し込みください。**

①	お名前		年齢	
	ご住所		電話番号	
②	お名前		年齢	
	ご住所		電話番号	

宛　先　**入間市の文化遺産をいかす会　（〒358-0007 入間市黒須 1-10-31 石川洋行内 ）**
FAX ０４－２９６４－２５１９　　メール　　iruma_ikasukai@yahoo.co.jp

問合せ　入間市の文化遺産をいかす会（石川　TEL:０９０－８８０１－９５８５）
入間市博物館（TEL:０４－２９３４－７７１１）